

写

令和6年度

北薩広域行政事務組合  
歳入歳出決算審査意見書

北薩広域行政事務組合監査委員



北広組監第17号  
令和7年9月11日

北薩広域行政事務組合  
理事長 椎木伸一様

北薩広域行政事務組合監査委員 大堂充博

令和6年度北薩広域行政事務組合歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定により審査に付された、令和6年度北薩広域行政事務組合歳入歳出決算を審査した結果、次のとおり意見を決定したので提出します。



## 目 次

	頁
第1 審査の種類	1
第2 審査の対象	1
第3 審査の期間	1
第4 審査の方法	1
第5 審査の結果	1
第6 審査の内容	2
1 決算の総括	2
2 決算の推移	2
3 予算の執行状況	3
4 決算の状況	
(1) 歳入	4
(款別決算状況)	
(2) 歳出	9
(款別決算状況)	
第7 財産に関する調書	15
第8 むすび	16

## 注 記

- 1 文中及び諸表中の金額は、原則として円単位で表示している。万円単位のものについては、表示金額未満の端数を切り捨てている。
- 2 文中及び諸表中の比率は、原則として少数第2位を四捨五入している。そのため、構成比の合計が一致しない場合がある。
- 3 文中及び諸表中のポイントは、百分率間及び指数間の単純差し引き数値である。
- 4 諸表中の符合の用法は、次のとおりである。
  - 「0」、「0.0」 該当数値はあるが単位未満のもの又はポイントで差引数値が0のもの
  - 「-」 該当数値がないもの
  - 「△」 減数又は負数
- 5 諸表中の前年度に対する増減率で、当年度に全て増加したものは「皆増」、全て減少したものは「皆減」、1,000%以上増加したものは「著増」と表示している。

## 第1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定に基づく決算審査

## 第2 審査の対象

令和6年度北薩広域行政事務組合歳入歳出決算

政令で定める書類

令和6年度北薩広域行政事務組合歳入歳出決算事項別明細書

同 実質収支に関する調書

同 財産に関する調書

## 第3 審査の期間

令和7年8月16日から同年9月10日まで

## 第4 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算及び政令で定める書類について、関係法令に準拠して作成されているかを確認し、決算の計数は正確であるか、予算の執行は適正かつ効率的に行われているか、財務に関する事務処理は適正に行われているか等に主眼を置き、証拠書類との照合審査を実施した。

また、関係職員から説明を聴取するとともに、定期監査、例月現金出納検査の結果等も参考にしながら、北薩広域行政事務組合監査委員監査基準に準拠して審査を実施した。

## 第5 審査の結果

歳入歳出決算及び政令で定める書類は、前記の方法により審査した限りにおいて、いずれも関係法令に適合し、かつ決算の計数は、証拠書類と照合の結果、正確であると認められた。

また、予算の執行、事務処理については、おおむね適正に行われていると認められた。

## 第6 審査の内容

### 1 決算の総括

令和6年度の決算額の合計は、

歳入 11億3,488万4,346円

歳出 10億9,477万3,585円

で、歳入歳出差引きでは4,011万761円の残額を生じており、翌年度へ繰り越すべき財源400万円を差し引いた実質収支額は3,611万761円である。

また、この額から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支額はマイナス248万3,102円で、積立金、繰上償還金及び積立金取崩し金がないため、同額が実質単年度収支額である。

年度別決算収支状況は、次表のとおりである。

年度別決算収支状況

区 分	令和6年度	令和5年度	前 年 度 比 較	
			増 減 額	増 減 率
歳入総額 A	円 1,134,884,346	円 941,184,498	円 193,699,848	% 20.6
歳出総額 B	1,094,773,585	902,590,635	192,182,950	21.3
歳入歳出差引額 C = A - B	40,110,761	38,593,863	1,516,898	3.9
翌年度へ繰り越す べき財源 D	4,000,000	0	4,000,000	皆増
実質収支 E = C - D	(ア) 36,110,761	(イ) 38,593,863	△ 2,483,102	△ 6.4
単年度収支 F	(ア)-(イ) △ 2,483,102	1,217,543	△ 3,700,645	△ 303.9
積立金 G	0	0	0	-
繰上償還金 H	0	0	0	-
積立金取崩し金 I	0	0	0	-
実質単年度収支 F + G + H - I	△ 2,483,102	1,217,543	△ 3,700,645	△ 303.9

### 2 決算の推移

前年度と比較すると、歳入は1億9,369万9,848円(20.6%)、歳出は1億9,218万2,950円(21.3%)ともに増加している。

これは、歳出において、環境センター維持補修費、旧環境センター解体事業費がいずれも増加し、歳入では、分担金及び負担金が増加したことが主な要因であ

る。

過去4年間の決算の推移は、次表のとおりである。

### 決 算 の 推 移

区 分	決 算 額				対 比		
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	6年度 /5年度	5年度 /4年度	4年度 /3年度
歳入	1,134,884,346	941,184,498	871,315,773	770,859,227	120.6	108.0	113.0
歳出	1,094,773,585	902,590,635	833,939,453	746,982,659	121.3	108.2	111.6

### 3 予算の執行状況

当初予算額は11億3,149万8,000円で、補正予算において144万2,000円を減額した予算現額は11億3,005万6,000円となっている。

これに対し、歳入の収入率は100.4%、歳出の執行率は96.9%となっている。

#### 【歳入】

年 度	予 算 現 額 (A)	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	対 予 算 収 入 増 減	収 入 率	
							対 予 算 (C)/(A)	対 調 定 (C)/(B)
6	1,130,056,000	1,134,884,346	1,134,884,346	0	0	4,828,346	100.4	100.0
5	937,771,000	941,184,498	941,184,498	0	0	3,413,498	100.4	100.0
増減	192,285,000	193,699,848	193,699,848	0	0	1,414,848	0.0	0.0

#### 【歳出】

年 度	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額 (B)	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	執 行 率 (B)/(A)
6	1,130,056,000	1,094,773,585	4,000,000	31,282,415	96.9
5	937,771,000	902,590,635	0	35,180,365	96.2
増減	192,285,000	192,182,950	4,000,000	△ 3,897,950	0.7

## 4 決算の状況

### (1) 歳入

歳入総額は11億3,488万4,346円で、前年度と比較すると1億9,369万9,848円(20.6%)増加している。

収入状況を前年度と比較すると次表のとおりである。

#### 歳入款別決算状況

区分	令和6年度			令和5年度			前年度比較	
	収入済額	構成比	対予算率	収入済額	構成比	対予算率	増減額	増減率
1 分担金及び負担金	877,328,000	77.3	100.0	703,339,000	74.7	100.0	173,989,000	24.7
2 使用料及び手数料	59,867,585	5.3	99.2	60,928,940	6.5	98.0	△1,061,355	△1.7
3 国庫支出金	15,088,000	1.3	100.0	63,556,000	6.8	100.0	△48,468,000	△76.3
5 財産収入	2,540	0.0	127.0	2,590	0.0	129.5	△50	△1.9
6 繰越金	38,593,863	3.4	100.0	37,376,320	4.0	100.0	1,217,543	3.3
7 諸収入	35,704,358	3.1	117.5	35,281,648	3.7	115.2	422,710	1.2
8 組合債	108,300,000	9.5	100.0	40,700,000	4.3	100.0	67,600,000	166.1
合計	1,134,884,346	100.0	100.4	941,184,498	100.0	100.4	193,699,848	20.6

#### 歳入性質別決算状況

区分	令和6年度		令和5年度		前年度比較	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
自主財源	1,011,259,346	89.1	836,921,498	88.9	174,337,848	20.8
分担金及び負担金	877,143,800	77.3	703,379,630	74.7	173,764,170	24.7
使用料及び手数料	59,867,585	5.3	60,928,940	6.5	△1,061,355	△1.7
財産収入	2,540	0.0	2,590	0.0	△50	△1.9
繰越金	38,593,863	3.4	37,376,320	4.0	1,217,543	3.3
諸収入	35,651,558	3.1	35,234,018	3.7	417,540	1.2
依存財源	123,625,000	10.9	104,263,000	11.1	19,362,000	18.6
地方交付税	237,000	0.0	7,000	0.0	230,000	著増
国庫支出金	15,088,000	1.3	63,556,000	6.8	△48,468,000	△76.3
組合債	108,300,000	9.5	40,700,000	4.3	67,600,000	166.1
合計	1,134,884,346	100.0	941,184,498	100.0	193,699,848	20.6

以下、各款の決算状況は、次のとおりである。

### 第1款 分担金及び負担金

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	対予算収入増減	収入率	
						対予算	対調定
6	円 877,328,000	円 877,328,000	円 877,328,000	円 0	円 0	% 100.0	% 100.0
5	703,339,000	703,339,000	703,339,000	0	0	100.0	100.0
増減	173,989,000	173,989,000	173,989,000	0	0	ポイント 0.0	ポイント 0.0

分担金及び負担金は、収入済額8億7,732万8,000円で、歳入総額の77.3%を占めている。

収入済額を前年度と比較すると、1億7,398万9,000円(24.7%)増加している。これは、旧環境センター解体工事費(令和6年度分)や稼働4年目を迎えた環境センターのごみ処理施設定期補修のほか、リサイクルセンターの粗破砕機等の不燃物処理施設維持補修費の増加に伴い、その財源としての負担金が増加したことによるものである。

負担金の内訳は、次表のとおりである。

### 負担金内訳表

市町名等	令和6年度		令和5年度		前年度比較	
	金額	負担比率	金額	負担比率	増減額	増減率
阿久根市	円 224,325,000	% 25.6	円 181,618,000	% 25.8	円 42,707,000	% 23.5
出水市	529,504,000	60.4	421,373,000	59.9	108,131,000	25.7
長島町	123,262,000	14.0	100,341,000	14.3	22,921,000	22.8
小計	877,091,000	100.0	703,332,000	100.0	173,759,000	24.7
地方交付税	237,000	0.0	7,000	0.0	230,000	著増
合計	877,328,000	100.0	703,339,000	100.0	173,989,000	24.7

## 第2款 使用料及び手数料

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	対予算収入増減	収入率	
						対予算	対調定
6	円 60,351,000	円 59,867,585	円 59,867,585	円 0	円 △ 483,415	% 99.2	% 100.0
5	62,179,000	60,928,940	60,928,940	0	△ 1,250,060	98.0	100.0
増減	△ 1,828,000	△ 1,061,355	△ 1,061,355	0	766,645	ポイント 1.2	ポイント 0.0

使用料及び手数料は、予算現額6,035万1,000円に対し、収入済額5,986万7,585円で、歳入総額の5.3%を占めている。収入済額を前年度と比較すると、106万1,355円(1.7%)減少している。これは主に、ごみ搬入量の減少により環境センター使用料が78万9,530円(1.4%)減少したことによるものである。

収入済額の主なものは、環境センター使用料5,739万9,760円及びリサイクルセンター使用料239万5,090円である。

## 第3款 国庫支出金

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	対予算収入増減	収入率	
						対予算	対調定
6	円 15,088,000	円 15,088,000	円 15,088,000	円 0	円 0	% 100.0	% 100.0
5	63,556,000	63,556,000	63,556,000	0	0	100.0	100.0
増減	△ 48,468,000	△ 48,468,000	△ 48,468,000	0	0	ポイント 0.0	ポイント 0.0

国庫支出金は、廃棄物処理施設整備交付金で、収入済額を前年度と比較すると、4,846万8千円(76.3%)減少している。

## 第5款 財産収入

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	対予算収入増減	収入率	
						対予算	対調定
6	円 2,000	円 2,540	円 2,540	円 0	円 540	% 127.0	% 100.0
5	2,000	2,590	2,590	0	590	129.5	100.0
増減	0	△ 50	△ 50	0	△ 50	ポイント △ 2.5	ポイント 0.0

財産収入は、旧衛生センターの普通財産土地貸付料である。

## 第6款 繰越金

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	対予算収入増減	収入率	
						対予算	対調定
6	円 38,593,000	円 38,593,863	円 38,593,863	円 0	円 863	% 100.0	% 100.0
5	37,376,000	37,376,320	37,376,320	0	320	100.0	100.0
増減	1,217,000	1,217,543	1,217,543	0	543	ポイント 0.0	ポイント 0.0

収入済額は令和5年度からの純繰越金3,859万3,863円で、歳入総額の3.4%を占めており、収入済額を前年度と比較すると、121万7,543円(3.3%)増加している。

## 第7款 諸収入

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	対予算収入増減	収入率	
						対予算	対調定
6	円 30,394,000	円 35,704,358	円 35,704,358	円 0	円 5,310,358	% 117.5	% 100.0
5	30,619,000	35,281,648	35,281,648	0	4,662,648	115.2	100.0
増減	△ 225,000	422,710	422,710	0	647,710	ポイント 2.3	ポイント 0.0

諸収入は、予算現額3,039万4,000円に対し、収入済額3,570万4,358円で、歳入総額の3.1%を占めている。

収入済額を前年度と比較すると42万2,710円(1.2%)増加している。これは、ごみ処理施設売電収入が23万2,462円(1.7%)減少したものの、預金利子が18万9,972円(著増)、不用品売払収入が53万1,755円(2.5%)増加したことが主な要因である。

## 第8款 組合債

年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	対予算収入増減	収入率	
						対予算	対調定
6	円 108,300,000	円 108,300,000	円 108,300,000	円 0	円 0	% 100.0	% 100.0
5	40,700,000	40,700,000	40,700,000	0	0	100.0	100.0
増減	67,600,000	67,600,000	67,600,000	0	0	ポイント 0.0	ポイント 0.0

組合債は、旧環境センターの解体事業によるもので、収入済額を前年度と比較すると、6,760万円（166.1%）増加している。

## (2) 歳 出

歳出総額は10億9,477万3,585円で、前年度と比較すると1億9,218万2,950円(21.3%)増加している。

款別決算状況は次表のとおりである。

### 歳出款別決算状況

区分	令和6年度			令和5年度			前年度比較	
	支出済額	構成比	執行率	支出済額	構成比	執行率	増減額	増減率
1 議会費	円 1,063,414	% 0.1	% 78.2	円 882,237	% 0.1	% 59.1	円 181,177	% 20.5
2 総務費	72,240,910	6.6	97.8	72,566,074	8.0	98.2	△ 325,164	△ 0.4
3 民生費	47,575,617	4.3	91.3	41,251,137	4.6	89.6	6,324,480	15.3
4 衛生費	973,574,516	88.9	97.2	787,878,500	87.3	96.6	185,696,016	23.6
6 公債費	319,128	0.0	74.2	12,687	0.0	22.7	306,441	著増
7 予備費	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	-
合計	1,094,773,585	100.0	96.9	902,590,635	100.0	96.2	192,182,950	21.3

### 歳出性質別決算状況

区 分	令和6年度		令和5年度		前年度比較	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
消費的経費	円 613,006,107	% 56.0	円 602,715,198	% 66.8	円 10,290,909	% 1.7
人件費	186,611,269	17.0	183,830,096	20.4	2,781,173	1.5
物件費	411,048,947	37.5	405,604,899	44.9	5,444,048	1.3
扶助費・ 補助費等	13,982,518	1.3	11,274,023	1.2	2,708,495	24.0
維持 補修費	1,363,373	0.1	2,006,180	0.2	△ 642,807	△ 32.0
投資的経費	481,448,350	44.0	299,862,750	33.2	181,585,600	60.6
普通建設 事業費	481,393,350	44.0	299,862,750	33.2	181,530,600	60.5
災害復旧 事業費	55,000	0.0	0	0.0	55,000	皆増
公債費	319,128	0.0	12,687	0.0	306,441	著増
合計	1,094,773,585	100.0	902,590,635	100.0	192,182,950	21.3

職員給与費は次表のとおりで、歳出総額の14.5%を占め、前年度と比較すると237万290円(1.5%)増加している。

年度末における職員数は、事務局長、総務課9人(総務課長、庶務係3人、施設整備係1人、介護認定審査係4人)、施設管理課8人(施設管理課長、環境センター管理係3人、リサイクルセンター管理係2人、衛生センター管理係2人(課長補佐1人含む。))の計18人である。

職員給与費内訳表

区分	令和6年度	令和5年度	前年度比較	
			増減額	増減率
給料	円 79,459,900	円 79,098,700	円 361,200	% 0.5
職員手当	53,427,775	51,551,032	1,876,743	3.6
小計	132,887,675	130,649,732	2,237,943	1.7
共済費	26,328,604	26,196,257	132,347	0.5
合計	159,216,279	156,845,989	2,370,290	1.5

以下、各款別の決算状況は、次のとおりである。

### 第1款 議会費

年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
6	円 1,359,000	円 1,063,414	円 295,586	% 78.2
5	1,492,000	882,237	609,763	59.1
増減	△133,000	181,177	△314,177	ポイント 19.1

支出済額は106万3,414円で、予算現額に対する執行率は78.2%となっている。

支出済額の主なものは、議員報酬30万8,882円、議会運営費の費用弁償59万3,380円である。

不用額の主なものは、議会運営費の旅費29万5,460円である。

## 第2款 総務費

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
6	円 73,889,000	円 72,240,910	円 1,648,090	% 97.8
5	73,921,000	72,566,074	1,354,926	98.2
増減	△ 32,000	△ 325,164	293,164	ポイント △ 0.4

支出済額は7,224万910円で、歳出総額の6.6%を占めており、予算現額に対する執行率は97.8%となっている。

支出済額を前年度と比較すると、32万5,164円(0.4%)減少している。これは、環境センター清掃業務委託料や派遣職員退職手当負担金の対象者数の増等により総務一般管理費が増加したものの、職員給与費が減少したことが主な要因である。

支出済額の主なものは、職員給与費のほか次のとおりである。

### 総務管理費

#### 一般管理費

#### 総務一般管理費

通信費（後納郵便料、電話・FAX料等）	380,000円
環境センター清掃業務委託料	1,075,800円
電算システム運用等負担金	453,000円
派遣職員退職手当負担金（出水市2人）	5,466,766円
監査委員費（委員報酬、費用弁償）	213,470円

不用額の主なものは、総務管理費の一般管理費162万2,560円である。

## 第3款 民生費

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
6	円 52,117,000	円 47,575,617	円 4,541,383	% 91.3
5	46,029,000	41,251,137	4,777,863	89.6
増減	6,088,000	6,324,480	△ 236,480	ポイント 1.7

支出済額は4,757万5,617円で、歳出総額の4.3%を占めており、予算現額に対する執行率は91.3%となっている。

支出済額の主なものは、介護保険業務費の職員給与費のほか、認定審査業務費

の介護認定審査会委員報酬1,334万5,500円、インターネットプロバイダ料及び後納郵便料等の通信費111万9,965円、障害判定業務費の障害支援区分認定審査会委員報酬87万1,500円である。

不用額の主なものは、認定審査業務費の401万8,958円である。

#### 第4款 衛生費

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
	円	円	円	円	%
6	1,001,761,000	973,574,516	4,000,000	24,186,484	97.2
5	815,773,000	787,878,500	0	27,894,500	96.6
増減	185,988,000	185,696,016	4,000,000	△3,708,016	ポイント 0.6

支出済額は9億7,357万4,516円で、歳出総額の88.9%を占めており、予算現額に対する執行率は97.2%となっている。

支出済額を前年度と比較すると1億8,569万6,016円(23.6%)増加している。これは、旧環境センター解体工事費が5,820万円(50.1%)、ごみ処理施設定期補修5,500万円(65.8%)のほか、粗破砕機等のリサイクルセンター不燃物処理施設維持補修費が4,097万9,050円(140.5%)それぞれ増加したことが主な要因である。

支出済額の主なものは、職員給与費のほか次のとおりである。

##### じんかい処理費

##### 環境センター管理費

光熱水費(電気料、水道料)	17,183,511円
薬品費(消石灰、活性炭、キレート剤等)	29,666,914円
環境センター運転管理業務委託料	189,750,000円

##### 環境センター維持補修費

ごみ処理施設定期補修	138,600,000円
塩化水素・ばいじん・酸素・水銀濃度計定期補修	5,060,000円
多成分ガス濃度測定装置定期補修	5,604,000円
クレーン定期補修	5,643,000円
空気圧縮機定期補修	3,410,000円

旧環境センター解体事業費	
旧環境センター解体工事施工監理業務委託料 (令和6年度分)	5,717,250円
旧環境センター解体工事(令和6年度分)	174,300,000円
リサイクル処理費	
リサイクルセンター不燃物処理費	
光熱水費(電気料、水道料、ガス料)	4,031,763円
リサイクルセンター運転管理業務委託料 (不燃物処理分)	22,430,320円
リサイクルセンター不燃物処理施設維持補修費	
不燃物処理施設維持補修費 (粗破碎機・細破碎機・その他設備補修等)	70,147,200円
リサイクルセンター資源化処理費	
リサイクルセンター運転管理業務委託料 (資源化処理分)	17,059,680円
し尿処理費	
衛生センター管理費	
出水干拓東土地改良区負担金(排水機場経費)	3,000,000円
光熱水費(電気料、水道料、ガス料)	28,997,312円
燃料費(A重油)	11,386,100円
薬品費(高分子凝集剤、硫酸バンド、メタノール等)	8,021,277円
衛生センター運転管理業務委託料	21,989,000円
受入槽及び貯留槽清掃業務委託料	2,750,000円
衛生センター施設整備方針等検討業務委託料	3,421,000円
衛生センター維持補修費	
オゾン設備・焼却設備・その他設備補修	37,400,000円
前処理設備補修	7,920,000円
ブロワ補修	4,235,000円
破碎機補修	9,020,000円
N o . 1 返送汚泥ポンプ補修	2,838,000円

翌年度繰越額は、繰越明許費で、じんかい処理費の環境センター東側法面復旧事業400万円である。

不用額は2,418万6,484円で、主なものは、環境センター管理費1,

005万1,537円、環境センター維持補修費803万1,537円、衛生センター管理費342万4,107円である。

#### 第6款 公債費

年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
	円	円	円	%
6	430,000	319,128	110,872	74.2
5	56,000	12,687	43,313	22.7
増減	374,000	306,441	67,559	51.5

支出済額は31万9,128円で、予算現額に対する執行率は74.2%となっている。

支出済額は、じんかい処理施設整備事業及びリサイクル処理施設整備事業による組合債定時償還利子である。

令和6年度末の組合債現在高は、次のとおりである。

前年度末未償還元金	当年度借入額	当年度元金償還額	当年度末未償還元金
42,400,000円	108,300,000円	0円	150,700,000円

#### 第7款 予備費

予算現額50万円であるが、充用額はなかったため全額が不用額である。

## 第7 財産に関する調書

公有財産（土地及び建物、物品）について、調書等関係書類により審査した結果、管理は適切に行われ、年度末現在高は正確であると認められた。

土地については、総面積の増減はなく、当年度末現在高は前年度末現在高と変わらず22万6,275.84㎡である。

建物については、行政財産の旧ごみ焼却処理施設の解体工事完了により、木造157,72㎡、非木造4,129.93㎡それぞれ減少し、当年度末現在高は1万8,080㎡である。

物品（車両）については、台数の増減はなく、当年度末現在高は18台である。

## 第8 む す び

以上、審査に付された令和6年度決算について審査し、その概要を述べてきた。

北薩広域行政事務組合においては、旧環境センターの解体工事（令和6年度分）、稼働後4年目を迎えたごみ処理施設定期補修のほか、リサイクルセンター不燃物処理施設維持補修費等の増加により、前年度と比較し歳入・歳出いずれも大きく伸びている。構成市町負担金及び組合債が増加する中、相互理解と協力を得ながら、各事業に安定的かつ効率的な運営を行ってきた。

当年度の決算額は、歳入は11億3,488万円で、前年度と比較して1億9,369万円（20.6%）増加している。決算額のうち77.3%は各市町の分担金及び負担金が占めている。

歳出は10億9,477万円で、前年度と比較して1億9,218万円（21.3%）の増加となっている。

歳入歳出差引額は4,011万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源400万円を差し引いた実質収支額は3,611万円となっている。

予算の執行に当たっては、特に指摘する事項はなく、適正な財政運営がなされていると認められた。

ごみ搬入量は、人口減少の影響と組合及び構成市町の努力により、前年度と比較して事業系ごみが127トン（1.5%）、生活系ごみが483トン（3.2%）いずれも減少している。

また、し尿、浄化槽汚泥処理実績においても、前年度と比較して1,041キロリットル（2.6%）減少している。

介護認定審査判定・認定業務及び障害支援区分の判定業務については、前年度に引き続き、オンライン審査及び介護認定審査会の二次判定の簡素化により、迅速化及び効率化が図られている。今後も公平・公正な審査・認定業務を実施されたい。

組合が管理するごみ処理施設、環境センターエネクリン北薩が令和3年4月に本格稼働し、令和4年度から旧環境センターの解体工事及びストックヤード整備事業に取り組まれてきた。当年度は、旧環境センターの解体工事が完了し本事業計画も残り1年となった。

また、稼働後28年目を迎えた衛生センターは、令和4年3月に策定された「インフラ長寿命化総合計画（個別施設計画）」を基に、当年度、今後の整備方針等を決

定するための検討がなされた。リサイクルセンターにおいても計画的な維持補修に努められ、稼働後17年目を迎えている。

以上の3施設は、循環型社会形成の一翼を担う施設であり、公衆衛生の向上と生活環境保全を担う重要な施設である。今後とも持続可能な地域社会の実現のため構成市町と連携しごみ減量対策に努めるとともに、環境学習機能を生かした取り組みに期待する。

最後に、令和7年8月に発生した霧島市及び始良市をはじめとする大雨による災害や、同年7月にはトカラ列島近海で発生した最大震度6弱の地震など、自然災害発生の可能性は決して小さくない。災害発生時には、地域住民の生活に大きな影響が出ることを予測されるため、令和5年度に策定した「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の第3章第9節「3 災害時に発生する廃棄物に係る対策」にあるように、構成市町及び県、周辺自治体との連携を図り、1日も早く日常生活を取り戻すことに貢献できる体制を今後も継続的に整えられるよう望むものである。